

# あわせていくつふえるといくつ

単 元	たしざん(1)	対象学年	1 年
ね ら い	かえる, 車などの具体物を問題文の「あわせる」と「ふえると」といった言葉とともに動かすことで, 言葉の意味を理解し, 式を立てやすくする。		

## 1 準備するもの

教師 かえる, 船, 車, はと, ドーナツなどの模型, 学習プリント

児童 数図ブロック

## 2 学習のしかた(第1時のあわせていくつの学習の場合)

### (1) 島とかえるの模型を見せる。

導入で, 島の絵とかえるの模型を見せることで学習への関心を高めることがねらいである。児童たちは, いつもと違う授業への導入に目を輝かせていた。普段集中力がなく, 黒板を向くことができない子も見ることができた。

- ① 島の絵を描く。
- ② ここはどこなのか聞く。
- ③ 船に3ひきのかえるを乗せ, 何ひき乗っているのか聞く。
- ④ 3ひき乗った船を島の左側につける。
- ⑤ 船の下に数図ブロックを3個置く。
- ⑥ もう一つの船にかえるを2ひきのせ, 何ひき乗っているのか聞く。
- ⑦ 2ひき乗った船を島の右側につける。
- ⑧ 船の下に数図ブロックを2個置く。



島とかえるの模型

### (2) かえるを数図ブロックに見立てて動かす。

全員に, かえるの模型を操作させ言葉の意味をつかんでほしいと考えた。そこで, 黒板と同じ島の絵が描かれた縮小版プリント上でかえるをブロックに見立てて動かすことにする。この方法なら全員が何度もブロックを操作できるため, 言葉の意味をつかむことができると考えた。

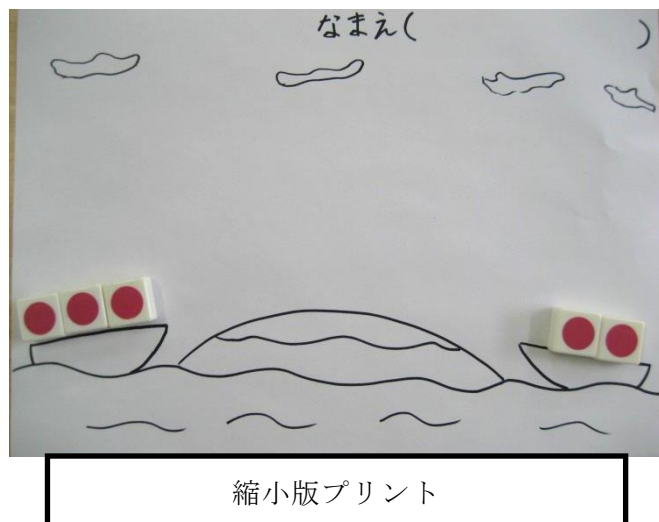
- ① 黒板の絵と同じ縮小版プリントを配布する。
- ② プリントの左の船に3個, 右の船に2个数図ブロックを置かせる。
- ③ 「あわせて」と言いながら, 黒板の右の船の3ひきと, 左の船の2ひきのかえるを島

に上陸させて見せる。

- ④ あわせて何ひきになったのか質問する。
- ⑤ 「あわせて5ひき」と言いながら、船の数図ブロックを島に上陸させる。

### (3) 船のかえるの数をかえて練習する。

- ① 黒板の左の船のかえるの数を4ひき、右の船のかえるの数を3ひきに変える。
- ② 縮小版プリントの左の船に、4つ、右の船に3つ数図ブロックを置かせる。
- ③ 「あわせて」と言いながら、船のブロックを島に上陸させる。
- ④ 島に上陸したかえるの数をかぞえる。



### (4) 教科書の練習問題を解く。

- ① 教科書に描かれた左の4人の子供、右の3人の子供の絵の下にブロックを置く。
- ② 「あわせて」と言いながら左と右のブロックをくっつける。
- ③ あわせて何人になったのかかぞえる。
- ④ あわせて何人になったのか発表する。

## 3 学習上の留意点

- ・児童たちの興味関心を高めるために、絵を描いたら、「ここはどこでしょう。」と問いかける。模型を貼ったら、「これはなんでしょう。」と問いかける。
- ・ブロックを操作するときは、言葉の意味をつかませるために、「あわせて」「ふえると」といった言葉を必ず言いながら動かすようくり返し練習する。
- ・言葉の意味を確実につかませるため、模型や数図ブロックの数を変えて何度もブロックを操作させ練習させる。

## 4 学習の効果

- ・かえる、船、車、はと、ドーナツなどの模型を黒板に貼るので、子供たちは興味関心を持ち授業に取り組むことができた。
- ・黒板に貼られた模型を数図ブロックに見立て、黒板に描かれた絵の縮小版プリントの上で「あわせて」「ふえると」といった言葉を言いながら操作することで、言葉の意味を理解することができ、式を立てることができた。